



発行所
東京薬科大学
新聞部
責任者
村上清貴

号外

あわや 部室棟立入禁止

深刻な学生の無関心

投票期間延長で かろうじて選挙成立

今回の選挙の投票率は、六二・二パーセントで、例年と比べてもかなり良好だったように見える。しかし、実は最終日の投票が終わった時点で、投票率は五〇パーセントを切っていた。翌日の選挙の頑張りによってようやく票を獲得し、事無きを得たというわけである。

投票最終日の異常事態に、関係者一同は大慌てだった。投票率が五〇パーセントを切ると、選挙は不成立、つまり、執行委員会は機能しなくなり、部室棟立入禁止、クラブ活動はもちろんできなくなるという、学生にとっては考えられない事態に陥るところだった。

たのである。投票最終日の翌日の執行委員達は、まるで針のムシロに座らされているような顔つきだった。

このようになった原因は、事前のPRが足りなかったのはもちろんだが、やはり学生のおのの自治会活動に対する関心不足であろう。選挙のやりかたを考え直すことも必要だが、最終的に自治会活動を左右するのは私達学生なのであるから、もっと自治会活動に関心を持ちたいものだ。何はともあれ、投票率を欠々に六〇パーセントの大会に乗せた選挙は、評価できるだろう。

	竹内章雄	山岸義典	早川佳代子
信任	1109	1175	1189
不信任	138	71	55
無効	3	4	6

全体投票率
62.2%